

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質								3.1	
Q1 室内環境					0.40		-	3.1	
1 音環境				3.0	0.15		-	3.0	
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.50		-		
1.2 遮音				3.0	0.50		-		
1 開口部遮音性能				3.0	1.00		-		
2 界壁遮音性能					-		-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-		-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-		-		
1.3 吸音				-	-		-		
2 温熱環境				3.0	0.35		-	3.0	
2.1 室温制御				3.0	0.50		-		
1 室温				3.0	0.38		-		
2 外皮性能				3.0	0.25		-		
3 ゾーン別制御性				3.0	0.38		-		
2.2 湿度制御				3.0	0.20		-		
2.3 空調方式				3.0	0.30		-		
3 光・視環境				3.4	0.25		-	3.4	
3.1 昼光利用				3.8	0.60		-		
1 昼光率				3.0	0.60		-		
2 方位別開口					-		-		
3 昼光利用設備		室中央部にハイサイドライト設置		5.0	0.40		-		
3.2 グレア対策					-		-		
1 昼光制御					-		-		
3.3 照度				3.0	0.40		-		
3.4 照明制御				-	-		-		
4 空気質環境				3.2	0.25		-	3.2	
4.1 発生源対策				3.0	0.50		-		
1 化学汚染物質				3.0	1.00		-		
4.2 換気				3.0	0.30		-		
1 換気量				3.0	0.33		-		
2 自然換気性能				3.0	0.33		-		
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.33		-		
4.3 運用管理				4.0	0.20		-		
1 CO ₂ の監視				3.0	0.50		-		
2 喫煙の制御		事業主方針により、キャンパス構内全面禁煙		5.0	0.50		-		
Q2 サービス性能				-	0.30		-	3.3	
1 機能性				3.0	0.40		-	3.0	
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40		-		
1 広さ・収納性					-		-		
2 高度情報通信設備対応					-		-		
3 バリアフリー計画				3.0	1.00		-		
1.2 心理性・快適性				3.0	0.30		-		
1 広さ感・景観					-		-		
2 リフレッシュスペース					-		-		
3 内装計画				3.0	1.00	1.0	-		
1.3 維持管理				3.0	0.30		-		
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50		-		
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50		-		
2 耐用性・信頼性				3.6	0.30		-	3.6	
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.8	0.50		-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		耐震グレードは基準法×1.25倍で検討		4.0	0.80		-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20		-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.4	0.30		-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20		-		
2 外壁仕上材の補修必要間隔				2.0	0.20		-		
3 主要内装仕上材の更新必要間隔				3.0	0.10		-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		屋外露出ダクトはガルバリウム製を採用		5.0	0.10		-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水VLP(B)、汚水排水・雑排水VP(B)、通気VP(A)、Eは不使用		5.0	0.20		-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20		-		
2.4 信頼性				3.4	0.20		-		
1 空調・換気設備				3.0	0.20		-		
2 給排水・衛生設備		井水利用、非常用汚水槽の設置、受水槽に水道蛇口の設置		4.0	0.20		-		
3 電気設備				3.0	0.20		-		
4 機械・配管支持方法		耐震クラスAを採用		4.0	0.20		-		
5 通信・情報設備				3.0	0.20		-		

3	対応性・更新性		3.4	0.30	-	-	3.4
	3.1 空間のゆとり		4.0	0.30	-	-	
	1 階高のゆとり	-	-	-	-	-	
	2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率=0.13	4.0	1.00	-	-	
	3.2 荷重のゆとり		3.0	0.30	-	-	
	3.3 設備の更新性		3.4	0.40	-	-	
	1 空調配管の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
	2 給排水管の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
	3 電気配線の更新性	全館ケーブルラックを採用	5.0	0.10	-	-	
	4 通信配線の更新性	全館ケーブルラックを採用	5.0	0.10	-	-	
	5 設備機器の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
	6 バックアップスペースの確保	-	3.0	0.20	-	-	
Q3	室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	3.0
1	生物環境の保全と創出	-	3.0	0.30	-	-	3.0
2	まちなみ・景観への配慮	-	3.0	0.40	-	-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30	-	-	3.0
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上	-	3.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上	-	3.0	0.50	-	-	
LR	建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.7
LR1	エネルギー		-	0.40	-	-	4.5
1	建物外皮の熱負荷抑制	BPI=0.57	5.0	0.20	-	-	5.0
2	自然エネルギー利用	室中央部にハイサイドライト設置	4.0	0.10	-	-	4.0
3	設備システムの高効率化	[BEI][BEIm]=-0.07	5.0	0.50	-	-	5.0
4	効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価		3.0	1.00	-	-	
	4.1 モニタリング	-	3.0	0.50	-	-	
	4.2 運用管理体制	-	3.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価		-	-	-	-	
	4.1 モニタリング	-	-	-	-	-	
	4.2 運用管理体制	-	-	-	-	-	
LR2	資源・マテリアル		-	0.30	-	-	2.7
1	水資源保護		3.4	0.20	-	-	3.4
	1.1 節水	節水コマに加えて、擬音装置を採用	4.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
	1 雨水利用システム導入の有無	-	3.0	0.70	-	-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無	-	3.0	0.30	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減		2.4	0.60	-	-	2.4
	2.1 材料使用量の削減	-	2.0	0.10	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用	-	3.0	0.20	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材	-	2.0	0.10	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	-	3.0	0.20	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避		3.0	0.20	-	-	3.0
	3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.70	-	-	
	1 消火剤	-	-	-	-	-	
	2 発泡剤(断熱材等)	-	3.0	0.50	-	-	
	3 冷媒	-	3.0	0.50	-	-	
LR3	敷地外環境		-	0.30	-	-	3.6
1	地球温暖化への配慮	LCCO2排出率=21%	5.0	0.33	-	-	5.0
2	地域環境への配慮		2.8	0.33	-	-	2.8
	2.1 大気汚染防止	-	3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善	-	3.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		2.5	0.25	-	-	
	1 雨水排水負荷低減	-	3.0	0.25	-	-	
	2 汚水処理負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-	
	3 交通負荷抑制	-	2.0	0.25	-	-	
	4 廃棄物処理負荷抑制	-	2.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
	1 騒音	-	3.0	1.00	-	-	
	2 振動	-	-	-	-	-	
	3 悪臭	-	-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
	1 風害の抑制	-	3.0	0.70	-	-	
	2 砂塵の抑制	-	1.0	-	-	-	
	3 日照障害の抑制	-	3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制		3.0	0.20	-	-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	-	3.0	0.70	-	-	
	2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	-	3.0	0.30	-	-	

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	2.0	-		○	○		-	-	-	-					
1.3.1 維持管理に配慮した設計	5.0		-	-	-	-	-	○	-	○	-	○	○	○	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	4.0			○	○	-	-	○		-		○	-		-
2.4.1 空調・換気設備	1.0		-	○	-	-	-								
2.4.2 給排水・衛生設備	3.0	3.0	-	-	○	-	○	-	○						
2.4.3 電気設備	2.0	1.0	○	-	-	○	-	-							
2.4.5 通信・情報設備	2.0		○	-	○	-	-	-							
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	8.0		-	2.0	3.0	-	1.0	-	1.0	-	1.0	-	-		
2 まちなみ・景観への配慮	3.0		2.0	-	-	-	1.0	-							
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	2.0		-	-	1.0	-	1.0	-	-	-					
3.2 敷地内温熱環境の向上	7.0		-	1.0	1.0	3.0	2.0	-	-	-	-				
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	1.0		-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無			-	-	-	-	-	-	-	-					
2.1 材料使用量の削減	-		-	-	-	-	-	-	-	-					
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	-	-	-	-								
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	-		-	-	-	-									
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-														
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	11.0		1.0	-	-	3.0	3.0	-	-	3.0	1.0	-			
2.3.3 交通負荷抑制	1.0		-	-	-	1.0	-	-							
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	2.0		-	1.0	1.0	-		-	-						
3.2.2 砂塵の抑制	-		-	-											
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	2.0		-	2.0											

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC	-	窓の日射熱取得率(η)	-
U値(W/m ² K)	窓システム	屋根	外壁
住戸部分	窓システムU値	外皮UA値	η AC
屋光率	-	床	η AH
自然換気有効開口面積率	-		

3.1.1 昼光率

4.2.2 自然換気性能

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

1.1.2 高度情報通信設備対応

1.2.1 広さ感・景観

1.2.2 リフレッシュスペース

2.2.1 躯体材料の耐用年数

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

3.1.1 階高のゆとり

3.1.2 空間の形状・自由さ

3.2 荷重のゆとり

執務スペース	-	/人	病床	-	/床	シングル	-	ツイン	-
コンセント容量	-	VA/m ²							
天井高	-	m							
リフレッシュスペース	-	レストスペース	-						
想定耐用年数	-	年							
想定必要間隔	-	年							
想定必要間隔	-	年							
想定必要間隔	-	年							
階高	-	m							
壁長さ比率	13.0%								
床荷重	-	N/m ²							

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

3.2 敷地内温熱環境の向上

外構緑化指数	50%	建物緑化指数	0%
空地率	44%	水平投影面積率	3%
地表面対策面積率	30%	舗装面積率	14%

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

2 自然エネルギー利用

BPI/BPI _m		0.57	断熱等性能等級		対象外 相当	
自然エネルギー直接利用量		0 MJ/年㎡	採光を満たす教室数 -		採光を満たす住戸数 -	
			通風を満たす教室数 -		通風を満たす住戸数 -	
BPI/BPI _m	非住宅	-0.07	住宅 -	太陽光	283.0kW	太陽熱等 -
						蓄電池 -

3 設備システムの高効率化

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

2.5 持続可能な森林から産出された木材

3.2.1 消火剤

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

3.2.3 冷媒

雨水利用率	-						
特定調達品目	-	エコマーク商品	-	自治体指定の特定品目等	-		
使用比率	-						
オゾン層破壊係数(ODP)	-	地球温暖化係数(GWP)	-				
オゾン層破壊係数(ODP)	-	地球温暖化係数(GWP)	-				
オゾン層破壊係数(ODP)	-	地球温暖化係数(GWP)	-				

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比	-	隣棟間隔指標Rw	-
地表面対策面積率	-	屋根面対策面積率	-
外壁面対策面積率	0.0%		
見付面積Sb	-	卓越風向と直交する最大敷地幅Ws	-
基準高さHb	-	m	
緑地	1,728m ²	水面	m ²
保水性対策面	m ²	高反射対策面	m ²
再帰性反射対策面	m ²		